



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月14日

上場会社名 株式会社 魚力 上場取引所 東
 コード番号 7596 URL <https://uoriki.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒川 隆英
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO管理本部長 (氏名) 木場 昌治 TEL 042-525-5600
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	10,577	4.0	277	18.1	574	32.5	377	27.3
2026年3月期第1四半期	10,172	16.9	234	△34.9	433	△26.4	296	△24.0

(注) 包括利益 2027年3月期第1四半期 594百万円 (34.5%) 2026年3月期第1四半期 442百万円 (40.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	27.08	—
2026年3月期第1四半期	21.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	25,061	19,235	75.9
2026年3月期	24,432	19,003	76.9

(参考) 自己資本 2027年3月期第1四半期 19,014百万円 2026年3月期 18,790百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	26.00	—	26.00	52.00
2027年3月期	—	—	—	—	—
2027年3月期（予想）	—	26.00	—	26.00	52.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	21,300	3.9	320	△22.0	690	△25.5	440	△25.1	31.52
通期	44,700	2.5	1,210	△22.1	1,670	△26.5	1,080	△17.1	77.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年8月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	14,620,000株	2026年3月期	14,620,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	662,539株	2026年3月期	662,539株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	13,957,461株	2026年3月期1Q	13,955,191株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、物価上昇の一服や雇用・所得環境の改善を受けた個人消費、及び人手不足などを背景とした企業による設備投資を起点に、緩やかに回復いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化による原油高や、記録的な円安に起因する高物価の定着、更には地政学的リスクの長期化など、景気の下振れ要因が多く見られます。

水産業界におきましては、世界的なタンパク質需要の高まりや国内外での健康志向の拡がりなどを背景に、養殖業を含む水産業及び水産物に対する注目度は高まっております。しかしながら、海外における水産物需要の増加や、地球温暖化等に起因する国内の不漁に伴う魚価高騰、物流費をはじめとする諸コスト増大などにより、当社を取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは中期経営計画（2024－2026年度）に基づき、国内事業の着実な成長と海外事業の拡大をめざし、仕入、販売、海外、人材、財務、地球環境といった各分野における基本戦略に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間においては、主力の小売事業における重要指標である既存店売上高が前年同期を上回りました。これは消費マインドや購買力を見極めつつ、商品の高付加価値化を図るとともに諸コストの上昇を適時・適切に売価へ反映させたこと、また、効率的な経営資源の活用に向けた最適な店舗ポートフォリオの構築（筋肉質な店舗網への再編）をめざし、戦略的に出退店を進めた成果によるものと考えております。

当第1四半期連結累計期間の店舗展開につきましては、当社小売事業において1店舗を出店、1店舗を退店した結果、営業店舗数は90店舗となりました。また、連結子会社の株式会社最上鮮魚においては1店舗を出店、3店舗を退店した結果、営業店舗数は49店舗となりました。これにより、当社グループにおける当第1四半期連結会計期間末の営業店舗数は139店舗となっております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は105億77百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は2億77百万円（前年同期比18.1%増）、経常利益は5億74百万円（前年同期比32.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億77百万円（前年同期比27.3%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①小売事業

小売事業におきましては、既存店売上高の増加等により前年同期比で増収となりました。増収に伴う売上総利益の増加が人件費をはじめとする販売費及び一般管理費の増加を吸収したことにより、営業利益も前年同期を上回りました。なお、従来どおり豊洲市場を仕入拠点としつつ、物流コスト削減に向けて一部商品の集荷場を埼玉県魚市場（さいたま市北区）に移すなど、物流改革に継続して取り組んでおります。

新店及び退店の状況につきましては、当社におきまして2026年5月にJR横須賀線保土ヶ谷駅に隣接する「CIAL保土ヶ谷」内に「保土ヶ谷店」（神奈川県横浜市）を開店いたしました。一方、同年4月には「ビーンズ西川口」の生鮮エリア営業終了に伴い「西川口店」（埼玉県川口市）を退店しております。また、株式会社最上鮮魚におきましては、同年4月に「Aコープあまぎ店」内に「とと市場あまぎ店」（福岡県朝倉市）を開店いたしました。一方で、経営資源の効率的な活用の観点から、同年4月に「マルシヨク富野店」（福岡県北九州市）、5月に「マルシヨク天籟寺店」（福岡県北九州市）、6月に「マルシヨク今宿店」（福岡県福岡市）をそれぞれ退店しております。

この結果、売上高は92億64百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は4億2百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

②飲食事業

飲食事業におきましては、前期に出店した新店の寄与などにより、売上高は前年同期を上回りました。売上高の大部分を占める既存店におきましては、近隣の当社鮮魚店との連携強化により天然の生ネタ寿司のラインナップを拡充したほか、原材料費等の調達コスト上昇に応じた適時・適切なメニュー及び価格改定を実施いたしました。更に、安定的な黒字運営の達成に向け、店舗オペレーションの効率化や物流の合理化といった構造改革に継続して取り組んでおります。

この結果、売上高は4億25百万円（前年同期比3.3%増）、営業損失は0百万円（前年同期は営業利益10百万円）となりました。

③卸売事業

卸売事業におきましては、連結子会社の魚力商事株式会社が国内外取引先への販売を行っており、当第1四半期連結累計期間における事業全体の売上高は前年同期を上回りました。国内向け取引においては、加工業者向けの原料販売が大幅に増加したほか、飲食店舗向け等の販売が引き続き堅調に推移いたしました。一方、海外向け取引におきましては、北米及びタイ向けを中心に相場高騰に伴う出荷量の減少が生じ、売上高は前年同期を下回りました。なお、2026年2月に業務提携契約を締結したドバイ（アラブ首長国連邦）の食品輸入卸・小売企業（Country Hill International LLC）向け売上高につきましては、中東情勢の緊迫化に伴う現地インバウンド需要の減少等により前年同期を下回ったものの、減少幅は軽微にとどまっております。

この結果、売上高は8億69百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は10百万円（前年同期比39.0%増）となりました。

（2）当四半期の財政状態の概況

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は149億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億82百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が増加したことによるものであります。固定資産は100億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億12百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が増加したことによるものであります。

この結果、総資産は250億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億29百万円増加いたしました。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は50億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億79百万円増加いたしました。これは主に賞与引当金が増加したことによるものであります。固定負債は7億66百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加いたしました。これは主に資産除去債務が増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は58億26百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億97百万円増加いたしました。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は192億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億32百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は75.9%（前連結会計年度末は76.9%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきまして、直近の業績動向等を踏まえ、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2026年8月14日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,263,412	10,896,487
売掛金	3,148,696	2,992,770
商品及び製品	584,996	527,964
原材料及び貯蔵品	14,475	14,483
その他	246,214	543,080
貸倒引当金	△102	△72
流動資産合計	15,257,693	14,974,714
固定資産		
有形固定資産	1,317,687	1,388,608
無形固定資産	22,917	20,741
投資その他の資産		
投資有価証券	4,229,795	5,089,681
出資金	1,598,841	1,623,931
その他	2,005,834	1,964,453
貸倒引当金	△250	△250
投資その他の資産合計	7,834,221	8,677,816
固定資産合計	9,174,826	10,087,165
資産合計	24,432,520	25,061,880
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,205,830	2,318,975
1年内返済予定の長期借入金	6,000	6,000
未払法人税等	303,206	269,482
賞与引当金	444,831	663,643
その他	1,721,306	1,802,586
流動負債合計	4,681,175	5,060,688
固定負債		
長期借入金	15,000	13,500
退職給付に係る負債	80,720	85,710
資産除去債務	612,809	628,146
その他	39,720	38,668
固定負債合計	748,250	766,024
負債合計	5,429,425	5,826,712
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,563,620	1,563,620
資本剰余金	1,474,345	1,474,345
利益剰余金	15,533,290	15,548,354
自己株式	△955,216	△955,216
株主資本合計	17,616,039	17,631,103
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	965,177	1,187,405
為替換算調整勘定	27,336	24,414
退職給付に係る調整累計額	181,987	171,705
その他の包括利益累計額合計	1,174,502	1,383,525
非支配株主持分	212,552	220,538
純資産合計	19,003,094	19,235,167
負債純資産合計	24,432,520	25,061,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	10,172,078	10,577,073
売上原価	6,022,574	6,207,556
売上総利益	4,149,503	4,369,516
販売費及び一般管理費	3,914,828	4,092,364
営業利益	234,675	277,151
営業外収益		
受取利息	2,654	1,279
受取配当金	48,159	104,810
持分法による投資利益	15,708	12,257
為替差益	1,118	773
投資有価証券売却益	119,057	156,603
その他	13,169	32,692
営業外収益合計	199,867	308,417
営業外費用		
支払利息	74	68
支払手数料	—	11,211
和解金	1,093	—
その他	65	—
営業外費用合計	1,233	11,280
経常利益	433,310	574,288
特別損失		
固定資産除却損	244	1,042
特別損失合計	244	1,042
税金等調整前四半期純利益	433,065	573,246
法人税、住民税及び事業税	175,439	243,744
法人税等調整額	△40,458	△56,441
法人税等合計	134,981	187,302
四半期純利益	298,083	385,943
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,178	7,985
親会社株主に帰属する四半期純利益	296,905	377,957

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	298,083	385,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	146,967	222,227
為替換算調整勘定	△615	△94
退職給付に係る調整額	2,625	△10,282
持分法適用会社に対する持分相当額	△4,850	△2,827
その他の包括利益合計	144,127	209,023
四半期包括利益	442,211	594,966
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	441,033	586,980
非支配株主に係る四半期包括利益	1,178	7,985

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	8,933,196	411,299	809,740	10,154,236	17,841	10,172,078	—	10,172,078
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	8,933,196	411,299	809,740	10,154,236	17,841	10,172,078	—	10,172,078
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	115,440	115,440	7,936	123,376	△123,376	—
計	8,933,196	411,299	925,181	10,269,677	25,777	10,295,455	△123,376	10,172,078
セグメント利益	366,587	10,952	7,572	385,112	12,165	397,277	△162,601	234,675

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業等であります。

2. セグメント利益の調整額△162,601千円には、セグメント間取引消去△243千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△162,358千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 前連結会計年度末において、株式追加取得により株式会社最上鮮魚を連結子会社としており、当第1四半期連結会計期間より売上高、セグメント利益の「小売事業」、「飲食事業」、「卸売事業」、「その他」に含まれております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	小売事業	飲食事業	卸売事業	計				
売上高								
顧客との契約 から生じる収益	9,264,581	425,055	869,679	10,559,316	17,757	10,577,073	—	10,577,073
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への 売上高	9,264,581	425,055	869,679	10,559,316	17,757	10,577,073	—	10,577,073
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	99,142	99,142	7,631	106,774	△106,774	—
計	9,264,581	425,055	968,821	10,658,458	25,389	10,683,847	△106,774	10,577,073
セグメント利益 又は損失（△）	402,088	△994	10,524	411,618	12,245	423,863	△146,711	277,151

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、テナント事業等であります。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△146,711千円には、セグメント間取引消去216千円及び各報告セグメントに配分してい
ない全社費用△146,928千円が含まれております。全社費用は、主に総務・財務経理部門等の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半
期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりでありま
す。

	前第1四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）
減価償却費	57,314千円	62,868千円